

オキナグサ

Pulsatilla cernua (Thunb.) Bercht.et C.Presl

キンポウゲ科

石川県カテゴリー 絶滅危惧Ⅰ類

国カテゴリー 絶滅危惧Ⅱ類

選定理由

生育地が県内では河川敷の数箇所に限られている。全国的にも個体数は希である。(現況:RO)

形態

根生葉は叢生し、2回羽状複葉で長い柄をもつ。花は鐘形で下向きに咲く。萼片は花弁状で花弁はない。6個の萼片が花弁のように見える。萼片の内側は暗赤紫色、外側は密に白毛の絹糸でおおわれている。植物体全体に長い白毛が密生する。

国内分布

本州～九州の暖帯～温帯に分布する。

県内分布

口能登区、南加賀区、加賀中央区のヤブツバキクラス域に分布する。

生態など

開花時は高さ10cmほどの小型多年生草本である。開花期は4～5月。花色は暗赤紫色である。開花後に伸長して40cmにもなる。果実は瘦果で白色の毛を羽毛状につけて風でしだいに飛散する。種子と地下の直根状の太い根で繁殖する。

生育環境

日当たりのよい明るいススキ草原や河原の草地などに生育する。

危険要因

園芸採取、自然遷移、産地局限、その他(増水による消失)。

特記事項

石川県指定希少野生動植物種。



本多郁夫

分布図はありません。

県内の分布